

東中 sound.

第5号

審査基準

- 観点① 発声、呼吸(声の出し方、息の吸い方について)
- よく空気を吸ってはき、はいた息を歌声にのせてホールの端まで響かせているか。
 - 頭の前の部分や鼻の当たりがビリビリするよう歌っているか。
 - お腹に力を入れて気持ちよく息を吐いているか。
 - 一人一人が十分に声量を出しているか。
 - うた声を聞いている人に届けようという意識で歌っているか。
 - し声と頭声を上手に混ぜて使い、喉をよく開けて柔らかい声で歌っているか。

観点② 口形、発音(口の開け方、歌詞が伝わるかについて)

- 縦に指2本分入るぐらいの大きさに口を開けて歌っているか。
- 歌詞は明瞭か。
- 子音と母音の発音をしっかりしているか。

観点③ バランス、ハーモニー(各声部のバランス、音程、声の重なりについて)

- 各パートの音量のバランスはきれいか。
- リズムや音程は正確か。
- 伸ばす音が短くならないよう十分に伸ばしているか。
- 主旋律が全体の中で一番よく聞こえるようにしているか。

観点④ 曲の解釈、表現力(曲の内容を理解した表現、聞かせる工夫について)

- 歌詞の意味
- 歌詞の内容を理解し、曲のイメージを持って歌っているか。
- 曲の中の「クライマックスや聞かせどころ」「山」をしっかり意識しているか。
- 「クレッシェンド」を十分に盛り上げる表現として表現出来ているか。

観点⑤ 態度、ステージマナー(クラスのまじまじ歌う時の姿勢、一生懸命さ、合唱の見せ方)

- 重心は体の中心にあるか。
- 目を開き、頬をあげ、明るい表情で生き生きと歌っているか。
- しっかりと指揮者を見て歌っているか。
- おしゃべりはないか。

- 足音等余計な音をなるべく鳴らさないようにしているか。
- 手は体の横に置いてあるか。
- 足はかかとに拳1個入る程度あげ、利き足を少し前に出しているか。
- 一生懸命歌い、体全体で表現しようとしているか。
- リズムにのり、体全体で歌うようにする。
- クラスとしての一体感が感じられるか。

審査の先生の紹介

今年の審査の先生は

声楽家である原田泉先生と幸手高等学校の音楽科の先生である蓮大二郎先生です。よろしくおねがいします。

クラスの練習の様子

1年1組→吹奏楽部で行っている腹式呼吸を取り入れて練習

2年1組→強弱をつけて、ハッキリと歌っている。

3年1組→パートごとに工夫する点や直すべき場所を話し合っている。

岩崎先生から一言

いよいよ明日は東中祭当日です。各クラスのクラス曲の出来はどうでしょう？今回は、当日の審査基準を載せました。みなさんのクラスは「全員」がしゃべりできているでしょうか？もう一度確認してみましょう。特に強弱は人がついてもほとんど変化しませんが、全員がつけるとガラッと変化します。クラス全員が協力し、頭を使って自分の声をコントロールしていきましょう。

合唱の良いところは、人と声を合わせたときに生まれる美しいハーモニーです。これは一人では創ることができません。一緒に歌っている仲間がいるからできるんです。今まで一緒に練習してきた仲間に感謝の心を持ちましょう。そして、本番のステージを思いきり楽しんでください。本番はたった一度きりです。どのクラスも練習の成果を存分に発揮し、そのクラスらしい絆の歌をホールいっぱいに響かせてくださることを期待しています。